

令和8年度  
大分県立農業大学校  
第1回 外部評価委員会



創立60周年記念スローガン  
紡ぐ60年の軌跡 繋がる未来 広がる夢

とき:令和8年6月3日(水)14:00～  
ところ:農業大学校会議室

## 次 第

1 開 会

2 学校長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 本校職員紹介

5 議 事 （進行：委員長）

（1）令和8年度運営方針の数値目標と主な取り組みについて

（2）創立60周年記念事業について

（3）その他

6 閉 会

# 令和8年度 運営方針と数値目標並びに主な取り組み (案)

## 運営方針1 活気あふれる学園づくり

【目標】基礎学力を備えた入学生60名の確保

### 【主な取り組み】

#### 1 高校への募集活動

- ① 農業系高校と振興局、農大の連携強化 連携会2回  
R7実績 なし R8新規
- ② 農業系以外の高校への募集強化 進路ガイダンス等の参加 5回  
R7実績 3回 (別府翔青、情報科学、津久見)
- ③ オープンキャンパスの魅力向上 参加者アンケート満足度8割以上  
R7実績 満足88%

#### 2 高大連携の強化

- ① 高校への出前授業 1校5回 (各専攻1回)  
R7実績 1校5回 (三重総合)
- ② 実習の連携 15回 (各専攻3回)  
R7実績 13回 (大分東、三重総合)
- ③ 各成果発表会への参加 6回 (日出総合、大分東、三重総合、久住高原、  
玖珠美山、宇佐産業)  
R7実績 2回 (大分東、三重総合)

#### 3 情報発信の取組

- ① SNSでの情報発信強化 インスタグラム投稿数300件/年(各専攻月5件)  
R7実績 172件/年
- ② マスコミ(TV等)による情報発信 報道回数 10回/年(全共、60周年)  
R7実績 14回/年
- ③ 就農相談会等への積極的な参加による情報発信 7回/年(東京、大阪、  
福岡、大分2回)  
R7実績 7回/年
- ④ 農大HPの強化 専用HP立ち上げ  
(現在知事部局HPのみ)

## 運営方針2 質の高い教育の提供

【目標】 全国を目指した学生の主体性を育む実践教育の取組  
プロジェクト発表・意見発表全国大会出場 1 課題

### 【主な取り組み】

#### 1 プロジェクト学習の充実

- ① 全国作文コンクールへの出品 1 年全学生
- ② プロジェクト計画 連携課題の設定 1 年学生  
連携課題（高校、産地、試験研究、農業法人、実需者等）

#### 2 カリキュラム、シラバスの充実

- ① 講義の充実（デジタル教育の推進）  
日本農業経営大学校と連携した、動画コンテンツによる  
オンラインスクールの試行
- ② 実習の充実（栽培（飼養）計画に基づく学生による農場運営）  
学科、コース又はクラス毎の計画策定と実践
- ③ 研修の充実（自主企画研修の実施） 2 年全学生  
海外代替研修の実施
- ④ R9 年度新カリキュラムへの移行準備 教務課程の見直し

#### 3 学生会自治活動の活性化

- ① 学生会活動の支援 学生アンケート自治活動満足度 90%  
R7 アンケート結果 80.9%
- ② 学生寮運営協議会の定期開催 1 回／月

### 運営方針3 農業の担い手確保

- 【目標①】 全学生・研修生の進路内定率 100%
- 【目標②】 全学生・研修生の農業関連就職率 80%以上
- 【目標③】 全学生・研修生の就農率 50%以上

#### 【主な取り組み】

##### 1 農学部

- ①農業法人等との情報交換および連携強化 連携会の開催 1回
- ②進路面談の充実 学生面談 1年次 4月、6月、8月、2月
- ③農業法人等との就職相談会の実施 2年次 4月
- ④多様な進路希望に応じた支援 公務員、編入学対応 各1回
- ⑤保護者への農業視察研修実施による就農への理解促進 1回

##### 2 研修部

- ①研修の充実 集落営農等の現地研修 2回
- ②個別面談による就農支援 個別面談 3回
- ③振興局等との連携による就農支援 産地からのアプローチ 3回
- ④就農相談会への参加 農大就農相談会等参加 4月
- ⑤研修生の就農事例活用と情報発信 2事例

評価にあたっては、対策の取り組み項目ごとの評価を踏まえ、各運営方針の目標について内部、外部の評価を行う。

評価基準は、4段階評価

(1完全に達成、2ほぼ達成、3未達成、4著しく未達成)

令和8年度主要行事日程

令和8年(2026年)		
4月6日	月	新任式、開講式(農学部、研修部)
4月8日	水	就農準備研修 開講式
4月9日	木	入寮式
4月10日	金	入学式
4月13日	月	新入生オリエンテーション
4月17日	金	野菜苗販売(午後2時~3時)
4月28日	火	農業法人等との就職相談会(4/27~28 体育館使用禁止)
5月8日	金	後援会役員会(第1回)【会議室】
5月15日	金	北部九州農大スポーツ交歓大会(R8:熊本県、R7:大分県)
5月22日	金	後援会総会【視聴覚教室】
5月22日	金	第2回 創立60周年記念事業実行委員会
5月25~29日	月~金	国内代替研修(2年生)(R7は海外)
6月1日	月	新任普及員研修(農業機械等)
6月3日	水	外部評価委員会(第1回)
6月4~5日	木・金	九州地区農業大学校協議会総会(R8:佐賀県、R7:福岡県)
6月9日	火	大分県農業法人協会との意見交換会
6月12日	金	農産物直売所「みどりの風」開所式
6月24~25日	水・木	九州地区農業大学校リーダー研修会(R8:熊本県、R7:佐賀県)
6月28日	日	オープンキャンパス(第1回)
6月下旬		JA新任営農指導員研修
6月下旬		プロジェクト計画課題検討会(1年生)
7月上旬		プロジェクト中間検討会(2年生)
7月17日	金	夏季休講前全校集会
7月18日	土	夏季休講(～8/24まで予定)
		同窓会総会
		第3回創立60周年記念事業実行委員会
8月2日	日	オープンキャンパス(第2回)
8月18~19日	火・水	教務担当者会議(R8:長崎県、R7:熊本県)
8月27~28日	木・金	機械担当者会議(R8:鹿児島県、R7:熊本県)
9月10~11日	木・金	九州地区農業大学校親善体育大会(R8:鹿児島県、R7:長崎県)
9月中旬		プロジェクト計画発表会(1年生)
10月1~22日	木・木	先進農家等体験学習(1年生)
10月8日	木	推薦入試 ※募集期間 8/24~9/25
10月16日	金	推薦入試 合格発表
10月17~18日	土・日	大分県農林水産祭(別府公園)
10月下旬		後援会役員会(第2回)【会議室】
		第4回創立60周年記念事業実行委員会
11月12~13日	木・金	九州地区農業大学校校長会(R8:鹿児島県、R7:沖縄県)
11月14日	土	農大祭・オープンキャンパス(第3回)
11月15日	日	創立60周年記念式典・記念講演会・祝賀会
11月8日	日	豊後大野フェスタ
		コース別プロジェクト実績発表会
12月上旬		高大連携農業機械研修(くじゅうアグリ創生塾機械研修)
11月26日	木	一般入試 A ※募集期間 10/16~11/13
12月4日	金	一般入試 A 合格発表
12月11日	金	農大プロジェクト・意見発表会(エイトピアおおの)
12月23日	水	冬期休業(～1/3まで)

令和8年度主要行事日程

令和9年(2027年)		
1月19～20日	火・水	九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表大会 (R8:福岡県、R7:鹿児島県)
1月27日	水	一般入試 B ※募集期間 12/4～1/15
2月3日	水	一般入試 B 合格発表
2月10日	水	閉講式・退寮式(2年生)
2月中旬		全国地区農業大学校プロジェクト・意見発表会大会(東京都)
3月4日	木	一般入試 C ※募集期間 2/3～2/19
3月5日	金	R9年度入学説明会 推薦AB日程
3月8日	月	就農準備研修 閉講式
3月11日	木	一般入試 C 合格発表
3月12日	金	卒業式
3月15日	月	修了式(1年生)
3月16日	火	R9年度入学説明会 C日程
3月16日	火	春季休業(～4/○まで)

## 大分県立農業大学校 学校評価要領

平成 23 年 7 月 1 日 制定

(目的)

第 1 条 この要領は県農業の担い手育成のために求められる質の高い教育を提供するとともに、地域に根ざした開かれた大学校づくりを推進するため、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき、大分県立農業大学校(以下「農大」という。)が行う学校評価について定める。

(自己評価)

第 2 条 農大校長は、教育・研修活動その他学校運営の改善を図るため、毎年度重点目標を定め、その達成に必要な評価項目などを設定の上、運営の状況等についての評価(以下「自己評価」という。)を行う。

2 自己評価を実施するため、別紙 1 に定める学内評価会議を設置する。

(外部評価委員会等)

第 3 条 農大が実施した自己評価の結果を踏まえた評価(以下「外部評価」という。)を行うため、農業大学校外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、校長が委嘱する別表 1 の委員で構成する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。委員に欠員が生じたときは、これを補充することができることとし、その任期は前任者の残任期間とする。

4 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

5 委員長は委員会を掌理し、副委員長は委員長に事故ある場合はその職務を代理する。

6 農大校長は、外部評価等のため農大の運営・教育・研修の状況、自己評価の結果などについて委員会に報告する。

7 委員会は、外部評価の結果を学校運営に関する意見とともに農大校長に報告をする。

8 農大校長は、委員会からの報告をもとに必要な措置を講ずる。

(公表)

第 4 条 農大校長は、自己評価の結果及び外部評価の結果並びに意見について、農大のホームページなどに公表するとともに、大分県農林水産部新規就業・経営体支援課に報告する。

(その他)

第 5 条 自己評価の実施方法その他学校評価に関することは、農大校長が別に定める。

(別表1)

農業大学校外部評価委員

区 分	関係機関名	職 名
教育関係者	大分県高等学校 教育研究会農業部会	部 会 長
生 産 者	大分県指導農業士会	会 長
〃	大分県農業法人協会	会 長
〃	地元女性農業者	
〃	地元農業関係者	
卒 業 生	大分県立農業大学校同窓会	副 会 長
農業団体	大分県農業協同組合	常務(営農担当)
行 政	豊後大野市	農業振興課長
	大分県	中部振興局農山漁村振興部長

平成23年7月 1日 制定

平成24年4月 1日 改正

平成28年4月 1日 改正

平成31年4月26日 改正

令和 4年4月 1日 改正

(別紙1)

農業大学校外評価委員

区 分	役 職	氏 名	
教育関係者	大分県高等学校教育研究会農業部 部会長 大分県立久住高原農業高等学校長	後藤 純一郎	R8.4.1～
生産者	大分県指導農業士会 会長	仲井 貞一	
生産者	地元女性農業者 大分県指導農業士会 副会長	植木 美和	
生産者	大分県農業法人協会 会長	上原 隆生	
卒業生	大分県農業大学校同窓会 副会長	湯浅 正徳	
農業団体	大分県農業協同組合 営農担当・常務	宇都宮 隆一	
行政	豊後大野市農業振興課長	赤嶺 繁素	
行政	大分県中部振興局農山漁村振興部長	前原 美恵子	R8.4.1～

## 専修学校（農業大学校）における学校評価に関する法令

- 専修学校の学校評価は、平成19年の学校教育法及び同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、及び②学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されている。

### 学校評価に関する関連法令

#### ■学校教育法（抄）

第四十二条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行ない、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

第四十三条 小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。

#### ■学校教育法施行規則（抄）

第六十六条 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

第六十七条 小学校は、前条第一項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行いその結果を公表するよう努めるものとする。

第六十八条 小学校は、第六十六条第一項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

※これらの規程は、幼稚園、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、各種学校に、それぞれ準用する。[学校教育法第133条、学校教育法施行規則第189条等]

専修学校における学校評価ガイドライン（平成25年3月）  
文部科学省 生涯学習政策局 より